

老朽化消火器の破裂事故にご注意！」

破裂危険が低い「**蓄圧式消火器**」をお勧めします！



●原因は何？

老朽化 サビ 腐食

上部の腐食・老朽化

消火器上部のキャップは、老朽化によって割れやキズを生じることがあります。腐食の進行は、キャップのメッキに光沢がなくなり、シワ、スジ、表面にボツボツができてきます。ホース部との接続も腐食により劣化します。このような消火器は危険です。



底部の腐食・老朽化



屋外に設置された消火器は、本体下部より腐食が進むことがあります。溶接部とその周辺や層状はく離の腐食などが代表的な下部の腐食です。この他にも、使用に耐えない鋭いキズや、サビを落としても腐食の残るものは危険です。

●加圧式と蓄圧式の違い

破裂危険が高いのは**加圧式**！！



操作時

●圧力の違いは…？

●加圧式消火器

消火器の中に加圧用の小さなガスボンベが入っていて、操作レバーを握ることでガスボンベに穴を開け、その圧力により消火薬剤が放射されます。（レバーを握った瞬間に約 1.0 から 1.5MPa の圧力がかかります。）



通常

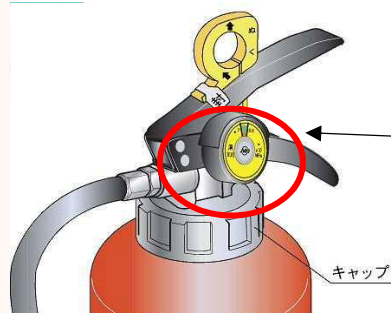
●蓄圧式消火器

消火器本体の容器内に予め圧力がかけられていて、その圧力を示す丸い圧力計が消火器の上部に取り付けられています。（常時、約 0.7 から 0.9MPa の圧力がかかっています。）

●加圧式と蓄圧式の見分け方

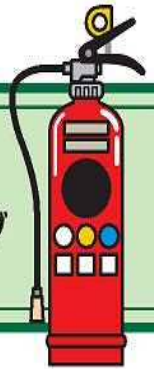
・ 圧力計あり：蓄圧式

・ 圧力計なし：加圧式



● 消火器の正しい設置場所は？

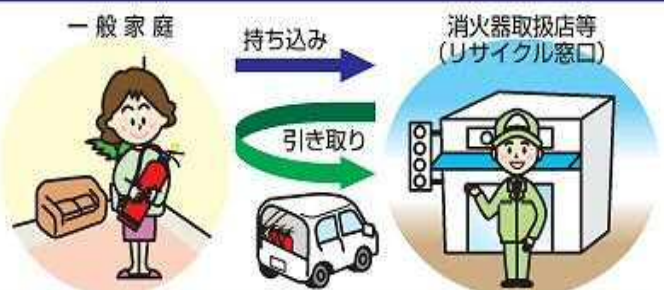
- できるだけ風通しがよく、目に付きやすい場所に設置して下さい。
- 風雨にさらされる屋外に設置する場合には、必ず格納箱等に入れて水滴を防いで下さい。
- 台所の流し台や洗面所付近など、水がかかりやすく湿気の多い所や、ガスコンロやストーブの近くなど、高温になる所には設置しないようにして下さい。



● 老朽化した消火器の処分方法は？

廃消火器リサイクルシステムの活用

消火器の安全な回収とリサイクルを推進するための新システムで、どのメーカーの消火器でも各地域にある消火器取扱店等（リサイクル窓口）に、廃棄する消火器を持ち込むか、自宅まで引き取りを依頼し処分することができます。（どちらも有料）



消火器取扱店等は、(株) 消火器リサイクル推進センターのホームページ (<http://www.ferpc.jp/>) のリサイクル窓口で検索するか、お近くの消防署予防課までお問い合わせ下さい。

「ゆうパック」を利用した家庭用の消火器の回収・リサイクル

問合せ先：0120-822-306（エコサイクルセンター）

受付時間：10～12時、13～17時（土、日、祝日、センターの指定定休日は除く）



ホームセンターでの交換

ホームセンター等では消火器を1本購入すると、無料で1本古くなった消火器を引き取るサービスを行っているところもありますので、各ホームセンターにお問合わせ下さい。



名古屋市中消防署

中消防署ホームページでは防火・防災に役立つ情報を発信しています

お気軽にお電話ください。

☎052-231-0119

